

【2018年4月／2018年5月】ポプラ社一般書単行本 刊行予定

※配本日・タイトル・予価等は変更の可能性があります。あらかじめ御了承ください。

4月

ジャンル	配本日	ISBN978-4-591-	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
ビジネス	4月5日	15692-6	THE RHETORIC ザ・レトリック 人生の武器としての伝える技術	ジェイ・ハイン リックス 著 多 賀谷正子 訳	1,980	四六並 / 1色	560	執筆者、編集者、役員、コンサルタント。30年以上にわたり出版業界に携わってきた。2007年に本書の第1版が刊行されてからは、講師として世界中を飛び回り、コミュニケーションの技法を教えている。現在はミドルベリー大学教授としてレトリックと演説の授業を担当。	ハーバード大学の必読図書トップテンに選出！ 相手の気持ちを動かすには、「攻め」と「守り」が必要だ！「譲歩」「誘惑」「共感」「枠組みづくり」—— 100以上のメソッドを網羅。27刷30万部、ニューヨークタイムズ・ベストセラー！世界13カ国で話題！
文芸	4月5日	15694-0	近松よろず始末処	築山桂	1,600	四六並 / 1色	368	1969年、京都府生まれ、在住。大阪大学大学院文学研究科博士課程単位取得。窪田正孝さん、栗山千明さん主演でドラマ化されたNHK土曜時代劇「浪花の華」の原作『緒方洪庵 浪華の事件帳』の著者。他の著書に「浪華疾風伝あかね」シリーズ(ポプラ文庫ピュアフル)、「緒方洪庵 浪華の事件帳」シリーズ(双葉文庫)など。	子どものころ両親を亡くし、賭場で用心棒をやっていた虎彦は、仲間たちから袋叩きに遭い、死にかけていたところを、人気浄瑠璃作者・近松門左衛門に救われる。近松の裏家業である始末処(探偵事務所)で働くことになった虎彦は、坂の町人たちから持ち込まれる事件を解決していくことに——。謎解きエンタテイメント小説。
エッセイ	4月9日	15870-8	パリのキッチンで四角いバゲットを 焼きながら	中島たい子	1,400	四六並 / 1色	208	東京生まれ。多摩美術大学卒業。放送作家を経て脚本家に。2004年、『漢方小説』ですばる文学賞を受賞。『この人と結婚するかも』『建てて、いい?』『ぐるぐる七福神』など、毎回テーマ性の高い題材で女性の気持ちを繊細に描いている。	30代・・・そして40代、この先ちょっと不安だったけど、お手本にしたい憧れの女性を見つけた！ 旬のごはん、センスのいい部屋、庭の花々—— パリ郊外で叔母ロズリーヌが送るフランス流・毎日を楽しむ「風通しのいい」暮らし方。

5月

ジャンル	配本日	ISBN978-4-591-	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
エッセイ	5月16日	15880-7	私の言うことは聞かないほうがいい。(仮) 役に立たない人生相談2	佐藤愛子	1,000	四六並 / 1色	128	1923年、大阪生まれ。甲南高等女学校卒業。父は作家の佐藤紅緑、兄に詩人のサトウハチローがいる。1969年、『戦いすんで日が暮れて』で直木賞受賞。小説のほか、エッセイ集や箴言集も人気。1979年『幸福の絵』で女流文学賞、2000年『血脈』の完成により菊池寛賞、2015年『晩鐘』で紫式部文学賞、2017年春の叙勲で旭日小綬賞を受賞。	2017年の年間ベストセラー総合No.1となり、現在も大ヒット中の『九十歳。何がめでたい』で注目を集める佐藤愛子さんが、中学生からシルバーまであらゆる世代の「悩み」に答えるという、愉快痛快な人生問答エッセイ。老若男女すべての方に読んでもらいたい、笑えてじんときる人生訓が詰まった一冊。佐藤愛子さんコーナーでぜひ一緒にご展開ください。

この新刊案内に対するお問い合わせは、ポプラ社営業局 TEL : 03-3357-2212 /フリーダイヤルFAX : 0120-53-6188